委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

会 議 名	第１２回「トラックの日」の事業実行委員会
開催日時	平成２０年１０月２９日（水）　１６：００～１８：００
開催場所	琵琶湖ホテル　４Ｆ「さくら」
出 席 者	委員１２名、事務局５名

協　　議　　内　　容

開会にあたり竹備委員長から「トラックの日」の事業「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ活動」が大成功であったことのお礼を含めあいさつがあった後、引続いて、岡田副委員長議事進行により協議に入った。

（1）「トラックの日」の事業実施結果について

岡田副委員長から次の各項について意見を求めたところ、各委員から以下の意見があった。

①「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ活動」について

先ずこの活動の班長である坂口委員より、協力方お礼と、集めて頂いたリサイクル用ペットボトルの重量が２１９kg、ペットボトルのキャップ重量が3kg、これらをリサイクルして作ったクリアファイルを次年度の新入学児童に対し贈呈したい。アルミ缶は、５０kgで４，５００円の収益があったことを報告した。

続いて、各委員から次の意見があった。

・　大成功であった。
・　当日、雨が降ったのが残念であった。
・　当日は雨天にもかかわらず、どこの支部も当日欠席もほとんどなく合計１２００名の人に参加してもらえた。
・　思ったよりたくさんのゴミがあった。特にペットボトルやアルミ缶などリサイクル出来るものは少なく廃棄となるゴミの量が多かった。
・　来年も行っていけば良い。
・　今年は参加者を会員及び家族を対象で行ったが、来年は一般まで広げるのか？
　これ以上、参加者が増えると駐車場等の問題が出てくる。

・　来年は担当エリアを変えて行ってはどうか？甲賀支部が遠いので気の毒である。
・　参加費について支部予算等を考えると来年は実施が難しくなるかも知れないが、この活動を続ける必要はある。
・　「交通事故防止総決起大会」と「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ活動」と２週連続して行ったが、来年は考える必要がある。
・　当支部は来年度も参加者の確保は出来る。
・　準備がうまくいったから成功したと思う。
・　各支部単位で行ったがみんなの顔が見られるものにしていってはどうか。
・　当然、大成功であった。事業は続けることによって周りから評価されるものである。
・　琵琶湖一周に拘らず、支部に近い幹線道路で活動を行っても良い。来年度は支部内でも意見を聞き行っていけば良い。
・　雨が降っている中で多くの人が参加して、頑張った！という達成感があった。外にもＰＲ出来たと思う。
・　準備の大切さを感じた。
・　来年度も続けて頂きたいし、今後も継続していくべきである。
・　駐車場やセレモニー会場の問題等もあったが関係各所に協力してもらって上手く出来た。
・　ウォーキングをしながら、ということであったので子供や家族の参加が多くあった。
・　従業員の参加については、代休等の問題がある。
・　「トラックの日」のアピールが出来た。継続することが大事である。継続することで評価される。継続しないと意味がない。
・　参加費の負担があったが、本来はボランティアである。今後はこれを目指していきたい。
・　事業が毎週実施とならないように計画的に行えるようにして頂きたい。
・　ポンチョ（カッパ）の数が足りないとの意見があった。
・　本部でセレモニーを行った湖南・甲賀支部を除く支部には事業の一体感がなかったように思われる。
・　次年度以降、他団体や一般の人が参加した場合、参加会員に対する昼食代の問題がある。
・　参加者に対しアンケート用紙を用意して、各支部単位で意見を取りまとめてはどうか。
・　今年度は各支部で実施計画書を作成したが、次年度は各支部から計画書を持ち寄りこれを参考に計画書を統一してはどうか。

②「エコ・セーフティドライブコンテスト」について

・　もう少し権威を与えたり、評価をしてもらえるように回を積み重ねる必要がある。
・　当社従業員がこのコンテストに参加し、マイスターをもらってたいへん喜んでいた。
・　マイスターの賞状を額に入れお客さんにも見てもらいＰＲ出来ている。
・　当社のマイスターを取ったドライバーは平形の車両を乗っているのでステッカーを貼るところがキャビンにしかなく運転席側のドアに貼ったが、走行中も他のドライバー等に見られていた。車両の形状によってステッカーの大きさも変わってくので、例えば平形・ウイング車用のステッカーを作成してはどうか？
・　ステッカーの平形用も次年度は検討していきたい。
・　参加した従業員は良い経験が出来た、勉強になった、と言っている。次年度は他の従業員も参加させたい。
・　参加した従業員の話を聞き、来年度も出場したいと思っている。
・　今後はドライバーだけでなく会員事業者に務める方も対象に乗用車でコンテストを行ってはどうか。

③広報活動について

「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ活動」について
・　新聞、テレビ等たくさんのマスコミに取上げてもらって良かった。
・　何か伝わってくるものが少なかった。
・　広報的に考えてもスポレク滋賀と共催出来たのは非常に良かった。
・　日頃使用している道路を綺麗にするのは当たり前ではなかったか心配をしていたが、スポレク滋賀開催前に琵琶湖一周のゴミ拾いを行い良いＰＲが出来たと思う。
・　びわ湖放送が上手く編集し特集を組んでくれた。
・　自分が広報の担当をして良い勉強になった。
・　来年はスポレク滋賀も行われない（キャッフィーもいない）ため、広報する上では、知事やエコ関係の著名人にも参加してもらってはどうか。
・　一般の人に参加してもらおうとするなら、地元誌（市町発行誌）にも掲載してもらえれば多くの人の参加が得られると思う。
・　何度もびわ湖放送に取り上げてもらえたことは良かった。

「エコ・セーフティドライブコンテスト」について
・　「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ活動」同様に、もっと広報に力を入れるべきであった。
・　一般の人にエコドライブをＰＲすることは必要である。
・　一般紙に採り上げてもらえるようになれば一人前である。

・　見学席を設け、参加者の家族や地域の人にも見てもらえるようにしてはどうか。
・　一般の人や荷主へのマイスター制度のＰＲ方法も考えていってはどうか。
・　マイスター制度を知らせていくためには、その時だけでなく今後の広報活動が重要である。継続的に広報していかないと意味がない。

また、岡田副委員長から事務局に対し、意見を求めたところ次の意見があった。

・　会員から集めるペットボトルについては、中を洗い、キャップを外し、ビニールのラベルを剥がす等の処理を事前にお願いしたい。
・　次年度は琵琶湖一周に拘らず、という意見があったが、滋賀県だからこそ琵琶湖一周に意味があるのではないか。
・　アルミ缶の収益は「おりづる会」に寄付することになっているが、４，５００円では少ないので実行委員のみなさんから寄付を頂いてはどうか、と事務局から提案があり検討されたところ、１１月１１日の理事会で寄付を募ることとなった。
・　次年度は、「エコ・セーフティドライブコンテスト」と「ドライバーコンテスト」はよく似ているので一本化して行って欲しい。
・　次年度は、クレフィール湖東の予定が６月１４日か同月２８日しか空いていないので早急に日程を決める必要がある。
・　広報はその時だけでなく、年間通じて行ってはどうか。

続いて、岡田副委員長より、「エコ・セーフティドライブコンテスト」のマイスター受賞者について業界新聞社に掲載を依頼したが今のところまだ掲載されていない。協会ホームページ（１０／１アップ済）と協会広報誌「おうみ路」冬号（１月号）に掲載することが予定されている旨、報告された。

（２）その他

①車両拠出料について

事務局より資料に基づきゴミの収集及び協会までの運賃として使用して頂いた車両の拠出料について説明し検討されたところ、２１，０００円（消費税込み）とすることとなり、支払いは各支部に行うことになった。

②ペットボトルをリサイクルして作成するクリアファイルについて

事務局より次年度、新入学児童にペットボトルをリサイクルして作成するクリアファイルを配布する予定をしているが、１００％リサイクル商品ということで値段が高く付くことから、予算の関係上、学校と家庭の連絡用として配布する可能性もあることを説明、検討されたところ了承された。

続いて、クリアファイルの文章（内容）について事務局から資料に基づき説明し検討されたところ、5の「このクリアファイルは、「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ活動」や事業所活動の中で収集したペットボトル等からリサイクルされた製品です。－（社）滋賀県トラック協会－」とすることに決定した。

③ペットボトルの回収について

これからも引続いてペットボトルを集めても良いのか、との質問があり、回収はその時期とすることとなった。

④エコドライブに関する標語の選定結果について

岡田副委員長より選定結果について報告があった。

・応募は１８２本（内中学生以下は１１本）
・中学生以下の部・・・最優秀賞、優秀賞、佳作（３本)、会長賞、計６本
　一般の部・・・最優秀賞、優秀賞、佳作（３本)、会長賞、計６本
・発表は、協会ホームページ等で行う予定である。

■次回委員会

日　時　　平成２１年１月下旬